

平成29年度 学校評価（自己評価） 全体集計

項目	番号	評価項目	評価	項目ごとの評価内容	改善事項と改善方法
学校経営	1	教育活動に建学の精神が反映されている。	A	建学の精神、教育理念への共通理解はよくできている。防災対策は定期的に行われている。	普段の学習活動、行事等で建学の精神や教育理念がより具体的に意識できるように工夫する。防災対策は、より実効性あるものにする必要がある。
	2	教育理念の共通理解が図られている。	A		
	3	教職員の協力体制の下、円滑な学校運営がなされている。	A		
	4	職員会議が情報交換、共通理解、課題検討の場として有効に機能している。	A		
	5	教職員や生徒に対し、防災訓練を実施するなど、災害への対応を取っている。	A		
組織運営	6	分掌間や、キャンパス間の連絡・調整や協力体制が図られている。	B	教職員は責任感を持ち意欲的に取り組んでいる。その一方で横の連携にやや課題を残している。	分掌やキャンパス間の横の連携を一層活性化することが、次の課題と思われる。十分に連携しつつ、適切な分担を行うことを引き続き目指す。
	7	各分掌やキャンパス間で活動の記録・資料が適切に保管され、活用が図られている。	A		
	8	教職員が職務に責任を持ち、意欲的に仕事をしている。	A		
	9	施設・設備は適切に整備・保全されている。	A		
	10	業務の効率化と職員の意思疎通のため、組織やIT環境の整備が図られている。	B		
広報活動	11	相談会、体験キャンパス、学校訪問等を通して、池上の特色を十分に伝えられている。	A	広報の活動を通して、池上の教育への理解は深まっている。一方、外部の情報収集にやや課題がある。	本校の特色を維持しつつ、変化に柔軟に対応するため、的確な情報収集とその共有に努める。また、得られた情報の教育活動への円滑な接続を進める。
	12	全職員が広報活動の意義を理解し、積極的な協力体制ができている。	B		
	13	諸団体・業界・他校の動向等、教育活動に必要な情報の収集と活用がなされている。	B		
	14	広報活動の成果を適切に評価し、次の改善に生かしている。	B		
教育活動全般	15	生徒の実態を把握し、個に応じた指導をしている。	A	教育活動は全項目、高い評価を得ており教育成果に手応えを感じている。とくに行事、特別活動ではほとんどの職員が自信を持っており、教育活動の充実が見て取れる。	生徒の多様なニーズに応えるための研修の充実を、引き続き継続させることが望まれる。
	16	生徒の人権を重んじ、一人ひとりの理解を深める努力をしている。	A		
	17	教育方針に対する共通理解のもと、教職員相互の連携・協力ができている。	A		
	18	成績および出席管理を正確に行い、適切な情報提供を行っている。	A		
	19	教育活動の成果を適切に評価し、次の改善に生かしている。	A		
	20	行事等、特別活動の充実に取り組んでいる。	A		
	21	教職員は研究・研修に計画的・意欲的に取り組んでいる。	B		
学習指導	22	生徒の「興味・関心」、「やる気」を引き出す指導を行っている。	A	一般的に高い評価をしている。しかし、多様な困り感を抱えている生徒への適切な指導については、引き続き工夫と研修が求められる。	学習に困り感を抱えている生徒への適切な指導とともに、学力があり、さらにプラスαを望んでいる生徒への指導も一層の充実が望まれる。
	23	自学自習を支援するための適切な添削指導がなされている。	A		
	24	生徒の実態を踏まえた適切な報告課題を作成している。	A		
	25	基礎的・基本的な内容が定着するよう、指導内容の重点化や指導法の工夫をしている。	A		
	26	学習に困難を抱えている生徒に対して、十分な学習支援ができている。	B		
	27	学習指導を通して、教師と生徒の信頼関係を築く授業や添削指導をしている。	A		
	28	生徒指導の具体的方法について、共通理解を図り、指導の統一を図っている。	A		
29	問題行動に対して、全職員で情報を共有し、協力して指導に当たっている。	A			
30	いじめ、ネットトラブル、その他、安全教育について適切な啓発活動を行っている。	A			
31	生徒会（校友会活動）、行事等において、生徒の自主性を育てる指導をしている。	A			
32	指導の記録等、個人情報を適切に管理し、活用している。	A			
進路指導	33	生き方を主体的に考え、進路を選択できるように計画的・組織的に指導を行っている。	A	生徒の入学時からの計画的な進路指導に始まり、進路選択・決定に至る指導ができつつある。	生徒の進路への更なる意識付けと、体験学習を踏まえた出口指導までの流れをより計画的に推進する。
	34	生徒一人ひとりの能力・適性を把握し、自己実現を図る指導をしている。	A		
	35	進路選択・決定にあたり、保護者と連携して適切な指導を行っている。	A		
	36	進路に関する資料や情報の収集・整理を適切に行い、効果的に活用している。	A		
	37	進路に関する個人資料を整え、各種手続き・作業を確実に行う手順を整えている。	A		
	38	上級学校、ハローワーク等の外部機関と連携し、キャリア教育を推進している。	B		
	担任HR	39	個々の生徒が抱える課題を職員間で共有し、全体で取り組んでいる。		
40		不登校や様々な対応を必要とする生徒への理解を深め、保護者等との連携ができている。	A		

【評価基準】

- A: できている 「目標に対して肯定率80%以上」
- B: ほぼできている 「目標に対して肯定率60%以上80%未満」
- C: あまりできていない 「目標に対して肯定率40%以上60%未満」
- D: できていない(指導方法の見直し) 「目標に対して肯定率40%未満」